磐城毎日新聞
社長 大和田與兵衛
福島縣平市南町
發行所 磐城毎日新聞社
印刷兼發行人 遠藤孝
電話（平）一二一〇番

噴火山上の江名町政

學校敷地問題譲歩で解決

江名町長中田佑一郎氏就任以來持越しとなつて居た中學校敷地問題は先きに永崎地内と決定したが、中田氏の就任と同時に江名部落出身町議が多數をもつて反對したことに端を發し、折戸中ノ作、永崎、上下神白、各部落は町議十名を以て敷に於ては其の敵でないので町議初め他の有志各部落民の反對運動に參加し飽まで敷地の爭奪戰を展開要求が否決された場合は折戸以下四部落は小名濱町に合併するも辞せずと江名部落民に對抗したので中田町長の責任辞職も辞せざる事となつた、近藤町長辞任以來就任一ケ月にして辞職を見るが如きは甚だ積がならざる成り行きと化し去らうとした永崎に中學校建設する事を承認した、これでもみにもんだ江名中學校敷地をめぐる町政紛糾問題も解決するに至つた

改正の件を原案通り可決されたが、この分課條例改正は分課條例第三條中「庶務課に文書、庶務、戸籍の三條を置く」とあるを「庶務課に文書、戸籍、庶務、消防の四條を置く」と改められ庶務課に消防係を設置する事を正式に決定し九月一日より設置する事となつたが、消防係主任には飯野支所戸籍係鈴木芳敎氏の轉任等の常習犯を檢擧に乘り出が内定している模様で條文に定められた消防係の業務は次の通りである

一、水、火災の警防に關する事項

二、消防團に關する事項

三、消防關係團体に關する事項

四、消防用機材及び器具に關する事項

五、消防署及び警察署との事務の連絡に關する事項

六、その他消防諸般の事務に關する事項

追加豫算を可決

平市定例議會終る

平市の八月定例市議會は二十四日午後一時三十分より開き、議案昭和二十五年度平市歳入歳出追加更正豫算案を上程、阿部助役より説明終つて二、三の質問應答があつて委員附託となり、次で市職員定數條例改正の件、市公告式條例設定の件、市職員恩給條例臨時特別設定の件、市職員恩給條例改正の件、市警察職員旅費支給條例改正の件、市消防職員給與品及び貸與品條例改正の件、二十五年度特別會計、平市水道事業費歳入歳出追加更正豫算、工事請負金前渡に關する件、林道開設事業施行の十案件を一括上程し、阿部助役より議案の説明各議員の質問應答があり各部委員附託として審議する事に決し、午後三時三十分休議し、直ちに各部委員會を開催し、しん重審議し夕食後午後八時本會議を再會、各委員長より各部委員會に於ける審議の結果を報告、委員長報告通り可決次で委員會に附託しない議案上水道擴張事業費起債及び償還方法變更の件、專決處分について承認を求む

平市では別項の如く二十四日開會した定例議會に於て議案第七十号平市分課條例改正の件、二十五年度特別會計豫算第五号平市定例市議會本會議終了後引續き協議會を開き三十米道路の名稱について協議したが一等入選の平廣小路について賛意を表した議員は一名もなく現在の驛前の中央通りを改名し新道路の名稱を中央通りとするか、或は平大通りとするとの意見が多數を占めたが、一層しん重を期するため次回の議會まで決定を保留する事となつた

市の消防係り新設正式決定

龍田炭礦遂に休山

双葉郡龍田炭鑛では最近の深刻な經營不振から收支つかず東北配電の未納六十万円を初め勞務者の未納賃金は三百万円を突破、其のなつて決ることになつてゐるん重を期するため次回の議此の休山により二百名の失

幻灯の夕べ

二十六日午後七時より小名濱小學校々庭に於て町公安委員同警察署共催のもとに少年補導敎化幻燈の夕べを開く、一般觀衆のあることを望んでゐる

市協議會で

廣小路名稱保留

平市の三十米幹線道路の命名については市當局ではしん重を期し市議會の協議會に諮る事になつた事は既報の如くで、二十四日開催した定例市議會本會議終了後引續き協議會を開き三十米道路の名稱について協議したが一等入選の平廣小路について賛意を表した議員は一名もなく現在の驛前の中央通りを改名し新道路の名稱を中央通りとするか、或は平大通りとするとの意見が多數を占めたが、一層しん重を期するため次回の議會まで決定を保留する事と

街の暴力團

更に四名檢擧

平市内の夏祭りに當つて市自治署では街から犯罪を一掃して地方からの客に安心の出來るやう暴力團やスリ等の常習犯を檢擧に乘り出して以來十二名を送檢、更に警戒の手をゆるめずにゐたが廿四日から暴行恐喝等による左記四名を檢擧した

平市四丁目氷販賣員佐藤善助(三三)同舊城跡日雇夫佐藤卓也(三三)は暴行、同四丁目製氷販賣員沼田俊一(三三)同童子町無職益田潔(三二)は恐喝でそれぞれ平市署に檢擧した

龍田鑛從業員

收容に悩む

双葉郡富岡職業安定所では二十一日龍田炭鑛休山でドッと押しよせた二百余名の失業者にてんてこ舞の盛況

平市四丁目氷販賣員佐藤善助(三三)同舊城跡日雇夫佐藤卓也(三三)は暴行、同四丁目製氷販賣員沼田俊一(三三)同童子町無職益田潔(三二)は恐喝でそれぞれ平市署に檢擧した

案外靜閉だつた同所も二十二からは押しかけた勞務者で毎日取り圍まれただならぬ形成を示してゐる、同安定所では直ちに失業保險支拂の手續きを開始する等馬力をかけてゐるがなんと言つても同地方は他に大きな事業所もなく勞務者の受け

國有林拂下げ

營林局から出張調査

二十八日から三十一日迄の四日間郡内の國有林野の拂下げ豫定地調査のため前橋營林局計畫課長が縣と協力植田營署管内を調査することになつた、なほ平營林署管内には昨年十二月から本年一月の三回に亘つて國有林野の放野所屬替豫定地の調査を行ひ國有林の六十六%を近く拂下げることに内定して居る

國体誘致募金に野球大會

國体誘致の基金募集のため磐城スポーツ連盟、福島縣社會人野球連盟共同主催、常磐炭鑛後援のもとに二十七日(日曜)午後二時より平市營球場に於て野球大會を開く事となつた、出場チームは立敎大學と常磐炭鑛の兩球チームで入場料は一般五十円、學生二十円、小學校の團体に限り十円

商狀、經濟欄

【鮮魚】廿五日現在

	卸値(單位貫)
かつを	四二〇圓
まぐろ	七五〇円
いわし	二〇〇円
ひらめ	六五〇—五〇〇円
かれひ	三〇〇—二八〇円
かながしら	三八〇—三〇〇円
ほつき	五〇〇円
小だい	七〇〇円
すゞき	六〇〇—五五〇円
かどいわし	二〇〇円

古川傳一氏

東大で近く手術

植田町の古川傳一氏は今春頃より糖尿病にかゝり東大科に於て診察中の處全病併發遂に手術する事となつた事を聞いた小名濱町では町長代理長瀬助役、町議小野務平兩議が植田町古川家へ廿四日午後二時訪問留守宅に見舞をなした

財布粉失か

茨城縣久慈郡佐竹村農青木昇(四〇)は二十四日午後三時ころ平驛前附近で買物をしての歸途、列車の中で現金三千圓入りの布製財布がなくなつてゐるのに氣付き平鐵道公安室に屈出た

入れ枠がほとんど皆無なので就勞斡旋も容易でないからこの收拾には頭を惱されてゐる

差押物件近く競賣處分

石城地方事務所では廿三四年度縣税滯納者に對し昨年八月から差押處分を實施し本年八月二十四日現在迄にすでに一千六百件、滯納額にして一千六百万円に及びその内で物件引き揚げをしたもの七十件となつてゐる地方事務所では今後强硬に滯納處分を實行する方針で引き揚げを强行、來る二十八日から競賣處分に附す事になつた

市協議會で

廣小路名稱保留

平市の三十米幹線道路の命名については市當局ではしん重を期し市議會の協議會に諮る事になつた事は既報の如くで、二十四日開催した定例市議會本會議終了後引續き協議會を開き三十米道路の名稱について協議したが一等入選の平廣小路について賛意を表した議員は一名もなく現在の驛前の中央通りを改名し新道路の名稱を中央通りとするか、或は平大通りとするとの意見が多數を占めたが、一層しん重を期するため次回の議會まで決定を保留する事と

龍田鑛從業員

收容に悩む

双葉郡富岡職業安定所では二十一日龍田炭鑛休山でドッと押しよせた二百余名の失業者にてんてこ舞の盛況

平市四丁目氷販賣員佐藤善助(三三)同舊城跡日雇夫佐藤卓也(三三)は暴行、同四丁目製氷販賣員沼田俊一(三三)同童子町無職益田潔(三二)は恐喝でそれぞれ平市署に檢擧した

案外靜閉だつた同所も二十二からは押しかけた勞務者で毎日取り圍まれただならぬ形成を示してゐる、同安定所では直ちに失業保險支拂の手續きを開始する等馬力をかけてゐるがなんと言つても同地方は他に大きな事業所もなく勞務者の受け

國有林拂下げ

營林局から出張調査

二十八日から三十一日迄の四日間郡内の國有林野の拂下げ豫定地調査のため前橋營林局計畫課長が縣と協力植田營署管内を調査することになつた、なほ平營林署管内には昨年十二月から本年一月の三回に亘つて國有林野の放野所屬替豫定地の調査を行ひ國有林の六十六%を近く拂下げることに内定して居る

國体誘致募金に野球大會

國体誘致の基金募集のため磐城スポーツ連盟、福島縣社會人野球連盟共同主催、常磐炭鑛後援のもとに二十七日(日曜)午後二時より平市營球場に於て野球大會を

一、展覽會及バザー、廿七日午前九時から

二、野球戰、在校生對卒業生、八月二十六日午後一時より郡中學校野球大會優勝披露

安定所補充職員近く實務に

平職安ではA級に昇格し定員三十七名から六十三名の増員となり職員補充に第一次九名、第二次十一名、計二十名の増員を行ひこの新職員に對して二週間實務訓練を與え第一次は既に實務に就いてゐる、尙六名の欠員に對しては近く補充の豫定

差押物件近く競賣處分

石城地方事務所では廿三四年度縣税滯納者に對し昨年八月から差押處分を實施し本年八月二十四日現在迄にすでに一千六百件、滯納額にして一千六百万円に及びその内で物件引き揚げをしたもの七十件となつてゐる地方事務所では今後强硬に滯納處分を實行する方針で引き揚げを强行、來る二十八日から競賣處分に附す事になつた

古川傳一氏

東大で近く手術

植田町の古川傳一氏は今春頃より糖尿病にかゝり東大科に於て診察中の處全病併發遂に手術する事となつた事を聞いた小名濱町では町長代理長瀬助役、町議小野務平兩議が植田町古川家へ廿四日午後二時訪問留守宅に見舞をなした

財布粉失か

茨城縣久慈郡佐竹村農青木昇(四〇)は二十四日午後三時ころ平驛前附近で買物をしての歸途、列車の中で現金三千圓入りの布製財布がなくなつてゐるのに氣付き平鐵道公安室に屈出た

【株式市況】磐城證券25日現在

整理人氣に小甘い商情午ら底固い、新光レイヨンと三井船舶の强調が目立つている、三井船舶は十月十日一對一の割當

鋼管 吉 東洋紡 三三 鐘紡 一五三 日清紡 三三 呉羽紡 一三五 日東紡 二四 片倉 七二 呉羽化 五六 苫小牧 一七九 十條紙 一五五 本州紙 三二〇 日セメ 八六 磐城セ 一八三 小野田 一四

【青果市況】丸サ市場

きうり	五〇—三〇円
なす	七五—五〇円
ねぎ(把)	一二—八円
玉ねぎ	五〇—三〇円
ごぼう	一四〇—八〇円
人參	一九〇—八〇円
大根	四五—三〇円
大根バ(把)	三円
はゝづき(個)	一円—八〇錢
馬鈴薯	四五—三十円
巣しようが(束)	一五—一二円
とうもろこし(本)	七—五円
かぼちや	四〇—一〇円
里いも	八〇—六〇円
さつまいも	一〇〇—八〇円
枝豆(把)	三〇—一〇〇圓
ぶどう	一六〇—一三〇円
青梨	二八〇—八〇円
赤	一四〇—六〇圓

市況—高價活潑

拾い讀み

衣料、食糧と吾々日常生活も灰色におうはれてゐたやうな暗い影がなくなつて來てゐる、心の糧もそれ相應に豊かになつては來てゐるこれら關係から鄕土的な條件を生かして行はれてゐる花火大會や諸種の行事は各町村の夏を賑したことは戰後一段と目立つて來てゐる、平市盆踊りも古來鄕土の藝術として取り入れた傳統を生かしてゆきたいものであり、生かして行く以上はどこまでも品位を向上せしめその現れから鄕土民の品位も卑俗な境地から脱却せしめたいと讀者の一部から叫ばれてゐることは鄕土藝術を正しく保存する見地から氣を得た言であらう

土木建築請負
磐城土建株式會社
社長 强口唯七郎
平市小太郎町
電話五九番

祝小名濱支局開設
小名濱銀行團
株式會社 七十七銀行小名浜支店 支店長 藤野源治
株式會社 常陽銀行小名浜支店 支店長 高野榮太郎
株式會社 東邦銀行小名浜支店 支店長 安島義知
小名濱海上保安部
部長 遠山武夫

皮膚科 性病科 内科
平市縣社下
矢吹醫院
電話一一九三番一二九五番

中元景品大売出
8月16日より28日まで
舊7月2日より15日まで
百圓御買上毎に福引券一枚進呈
5等まで空くじなし
1等 總桐タンス 洋服タンス 背廣三ツ組
2等 鏡台 革手提カバン 上下洋服他數點
3等 上物レーンコート 洋傘 他數點
平驛前 電話656 壽百貨店

營業部員を求む
學歴 舊中卒以上男女を問はず 若干名
年令 三十五歳迄(給料は面談の上決定)
自筆履歴書持參の上三十日午前中御來社下さい
平市三丁目東平物産二階
東北街頭宣傳株式會社

註文洋服の秋
純毛生地を一足先に入荷用意致しました！
平市三丁目角
佐川洋服店營業所
店主 佐川三良
電話四一八番
自宅 平市南町
本年の純毛品は先は行く程高くなります！

くすり テラポール
今日も元気で
電話 平四
関内藥局

唄も品よく卑俗をさけ

盆踊大會取締り對策決る

二十七日より三日間に亘つて催す平市盆踊り大會について警備その他に關する協議會は主催者側より市役所以上の會員を動員し且つ消防團の應援を求め警察署に協力して交通及び踊り場の整理並に警びに當る

△時間の制限―盆踊りは二十七日(舊十四日)二十八日(舊十五日)の兩日は十二時席、二十四日午後三時より翌日の午前一時限りとする、なお盆唄については風俗を乱すが如き野卑なものは避ける事を申し合せた

△警びについて―白銀町、子供さん達まで動員してもたらず、ねこの手もかりたい位ですと言ふ顔はさすが丁目、大町などでもすでに準備が出事てお盆の踊りだけは盛大にやらうと意氣込んでゐる

寫眞Ⅱは大ちようちんにかこまれ、書き入れに大汗の提灯屋さん完成を急ぐ白銀青年會の驛前やぐら

田町、三丁目、五丁目、大町、白銀町、田町、三丁目、五丁目の各青年會代表二名宛出席、二十四日午後三時より市公會堂日本間に於て協議の結果警備その他について次の如く決定した

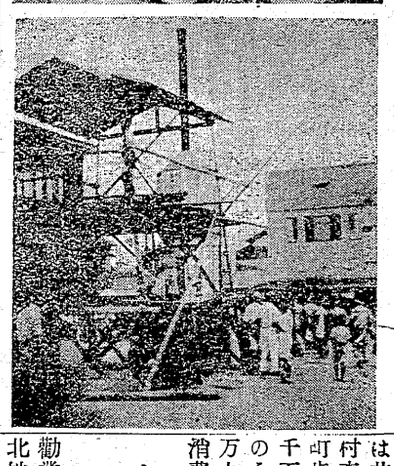
△一等
月にぬれつゝ新川へ
茨城縣多賀郡驛前　草野　唉平

△二等
踊り姿に人目を忍び
戀の落ち合う三丁目
平市下平窪　伊藤眞砂男

町は七色お店は十色
人のあや織る三丁目
平市仲町　伊藤　克子

に嬉しそうだ、また市内各町内ではお盆やぐらを建てようと青年達の飛び歩く姿も見受けられるが、すでに驛前には白銀青年會が骨組をはじめ汽車乘降客の目を引いてゐる、なおこの外田町、三丁目、五

柳田防犯係主任、自治署伊藤次席
保存會佐藤武雄氏、大町、
花澤主任、商工會議所伊藤常務。
整理並に警びに當る
△時間の制限―盆踊りは二十七日(舊十四日)二十八日(舊十五日)の兩日は十二時
花澤主任、商工會議所伊藤常務。
協力して交通及び踊り場の
防團の應援を求め警察署に
以上の會員を動員し且つ消
年會が骨組をはじめ汽車乘
飛び歩く姿も見受けられる
が、すでに驛前には白銀青
ぐらを建てようと青年達の
寫眞Ⅱは大ちようちんにか
こまれ、書き入れに大汗の
提灯屋さん
完成を急ぐ白銀青年會の驛
前やぐら



明晩から供養盆踊り

平市夏祭りの第三陣平名物恒例の盆踊り大會は別項の如く市内五ケ所で催されるが市内第二十一區白銀青年會が主催する盆踊り大會は平市の表玄關驛前廣場で古くから傳統的に最も盛大に行はれ名實共に縣下一の稱があり本年は例年に增して盛大に行ふ事になり準備を進めている、白銀青年會では單に盆踊りのみでなく先敬宗の念を昂揚する事を主眼として昨年新靈の供養を營んだが今年も市役所商工會議所平驛平佛教同志會東寺院大師講平支部の協賛を得て來る二十七日(舊十四日)午後七時より平市内の六百餘新靈の供養を嚴肅に營む事となつた

式次第は次の通り
一、開會の挨拶
一、迎　火
一、僧侶讀經
一、奉詠讃佛歌
一、弔文朗讀
一、焼　香
一、遺族代表謝辞
一、念　佛　踊
一、閉　會

入選の盆唄

藝妓連で發表會

三丁目青年會では盆唄を募中集であつたがこの程審査會を開き一等一名、二等二名、佳作七名の入選者を決定した、この入選歌の發表會は來る二十八日(舊十五日)午後八時より三丁目本町通りと三十米道路角の盆踊り會場で新田町からのど自慢の美妓連が多數出場し

僻地申込も受付よ

寄稿

本縣では住宅庫の貸付けが二回に亘つて行はれた、しかも二回目は貸付方針が住宅緩和と隆雨期を控えてゐる等の特殊事情を考慮に入れて抽籤を行はずに受け付け順に貸し付けると云つた、家のない者扱者の福島無盡平支店の係員に聞くと詳しいことは解をして嬉ばしい發表に接し

たが、この申込み地域が限定されてゐるのはどうした譯か、石城地方では平市とその一部分であり、小名濱とその近在の一部のみが受付けてゐるので極めて少範囲に極限されてゐるのには驚かされた、その理由を取扱者の福島無盡平支店の係員に聞くと詳しいことは解の官廳や會社に勤務、附近

らぬと云つてゐる、住宅難の町村から通勤してゐるものは獨り市街地ばかりではなく、へき地村落にも相當住宅難に惱んでゐる者がある、これ等の者が町村地帶に住宅を希望してゐても今度の偏した選衡では殊に石城地方の場合を取りあげて考えて見ても平市内の住宅難は緩和されることは何かの點で有意義なものがあることは今更言を俟つまい事務の取扱上不便はあるであらうが、地方的にも制限を解除し申込みを受けつけて貰い度いものである(職人廣

ない者は縁故や信用等の面からも樂に土地が見付けられる人手も簡易なものである そして都市集中主義でなく各地に分散された獨立家屋が建築されることは何かの點で有意義なものがあることは今更言を俟つまい事務の取扱上不便はあるであらうが、地方的にも制限を解除し申込みを受けつけて貰い度いものである(職人廣

備が出事てお盆の踊りだけは盛大にやらうと意氣込んでゐる

寫眞Ⅱは大ちようちんにかこまれ、書き入れに大汗の提灯屋さん完成を急ぐ白銀青年會の驛前やぐら

野村北郷生)

長塚の桶屋

反物掻拂つて捕る

二十四日午前十時ころ双葉郡長塚村字寺澤桶職岩本爲吉(五五)は平市白銀町川又呉服店から女物の反物二十四ヤール、時價二千円相當を盗み逃走したが追かけた同店員に平驛待合室で發見され平鐵道公安官に捕えられ平市署に引渡された

就勞を拒否する

暴行や脅迫等勞務者へ

平職業安定所では所長吊し上げ事件、内郷紹介所の紹介員に對する暴行事件等繁發する暴力行爲から同所職組では生命の安全性を犯すものとして佐藤所長及び縣當局に對し「生命の保證制度を確立せよ」と迫つて注目されてゐたが此のほど同職安では現場係員を保護し失業救濟事業をスムースに運營するため「失業對策事業不正就業者排除規則」を設けたが更にその周知徹底をはかるため二十三日その要旨を各出先斡旋所に公示した、その要旨は、暴行、脅迫または大衆をせん動して業務防害をはかり、他人の求職受付票や紹介票を改ざん、使用作業監督官の許可なく現場をはなれたり係員に暴行脅迫した者、休憩時間外に職場大會を開くこと若しくは怠惰なものなどの紹介や就勞を拒否すると言ふ強硬な態度でのぞむことになつた

不正勞務者

九名に直ぐ適用

二十三日内郷自由勞組員同町白水伊藤菊太郎(二八)同陽田秀藏(四九)同鈴木アキ(二七)の三名は自分の子供に勞務手帳を貸して就勞させようとしたこと、同渡邊仲造(三四)外九名は勞務手帳を他人に貸與して失業救濟工事に就勞させようとしたことにより今度設けられた不正排除規則を犯したものとして石十二名は月末まで一週間の就勞停止を平職安から言渡した

書入れとは

ほんに提燈屋

今日から舊盆を迎える平市ではどこでもお盆仕度にとりかかつた、市内の某ちようちん屋さんでは毎日尺五六寸のちようちんに圍まれ絞章や戒名の書入れに大汗業税金攻勢に豫防線を張つて設けたが更にその周知徹底かこう言ふものはガラが大きいので大分景氣量良さそうに見えるがそれほどではありませんと、前置きを語つてゐるおかみさんから

青年團對抗 陸上競技大會

來る三日午前八時半から磐城縣高校で開かれる第四回縣下青年各郡市團對抗陸上競技大會は縣連合青年會、縣教育委員會の共催で二十六日郡市連合青年團八百名が出場して開催される、なおこの大會で成績優秀者は九月二十六日高松市で行はれる東日盃爭奪全國大會に縣代表として出場する事になる

林務技師送檢

双葉地方事務所津島林務出張所技師山田今朝吉(三三)双葉郡葛尾村助役松本政衛(四九)同葛尾森林組合長松本美仲(六六)の三名は公文書僞造行使、詐欺並びに背任横領容疑で富岡地區署の取調べを受けてゐたが二十三日身柄とも地檢平支部え送檢された取調べによると同三名は共謀して二十四年度葛尾村森林組合施行面積二十二町歩、その費用四十二万六千百五十圓の詐取、更にこのうち組合員に渡すべき九万九千二百五十四圓を横領消費した疑い

出生

二十日平市胡摩澤武藤一位氏長女惠美子さん△二十二日平市四軒町岡部市松氏四女節子さん△十四日平市搔槌小路遠藤虎男氏長女悅子さん△四日平市長橋町酒井君房氏二男勉さん△十二日赤井村大字赤井戸田傳衛氏二男進さん

小名浜町勸銀

近く廢止か

勸業銀行頭取堀芳武氏は東北地方を視察中のところ廿三日福島支店に於て本年十月頃は全國的に支店出張所の整理をすることになつた本縣では三ケ所でその内小名濱町の詰所が整理の線に浮びあがつたことが判明した

ケイソン沈下

樂觀記　小名浜支局(二)

二本の軌道が斜路となつて海上に向つて設備しワイヤーを電力に依つて牽引し斜路の急勾配の處で解放すると云ふ仕組である

技官の説明によると、このケイソンは内ば六寶に別れ箱形であるが二百二十屯もある喫水三米までの海中では、平易に浮き出して、平易に牽引し得る、此れを現場に引きつけてサイボン式に依つて、水を注入して、落ちつかせ六寶に小ケイソンを投入して、其の目的を達成すると云ふので其の總量が初めて八百屯となつて灣内のど濤を防げるのだとの説明には敬服した、愈々時間が來たと云ふので信号旗振り方によつて二百二十噸のケイソンが軌道の現場から辷り出す、斜路が二十米で浮きるのだとの説明中にも、ケイソンは、靜かな歩みを續けて海面五米の處でストップして仕舞つた、同事だらうと、技官に聞けば牽引用のロップが、もつれ合つたゝめに、其のすべりに故障が起つてストップしたとの事であつた、ぎ官は聊かも周章せずに猶も、指揮を緩めず、ロップの中間を止めたピンを抜いた、せつ那に二百二十屯のケイソンは、輕々と灣内に浮び上つて自重を忘れて、右往左往に浮流する有樣は輕石の浮ぶが如き輕さを示して居る、待ち受けた曳航船は聊かも苦しい態を見せずに曳航して現場たるしお風沈沒の場所まで、僅かに二時間足らずで、曳航が終了したこれがケイソンの作業であるが、見る人をして啓蒙の眼を見張らせざるを得ない、水藥とも云ふべきであるこのケイソンが、今後六十米に依つて、本工事の完成を見るのであるが、一個の修築工費が一米六十万圓十米六百万圓を要すると言はれ六十米、三千六百万圓を要する計算で、今後地方港となつた場合本港の運命一体どう落ちつくかが問題であるなど、腦裏に浮ぶ商港の將來は決して生やさしい藝當でない事などを考へながら後藤ぎ官に禮を述べて歸途に就いたのは午後四時ころであつた(終り)

平市
第一回
戰災復興寶くじ
壹等……10萬圓
殘念賞……2千圓
貳等……1萬圓
他六等まで
1枚30圓　8月25日賣出し
抽せん……9月26日
何卒御協力願います
平市
受託銀行 日本勸業銀行

季節の味
乾めん　うゝめん　冷むぎ　素めん
◆…委託加工は是非當店へ…◆
永島製麺所
工場　平市杉野澤　電1094番　出張所　平市田町

開店!!
飯田スタヂオ
平市紺屋町飯田カメラ店階上

27日――30日
(お盆興行)
平舘が皆様への贈りもの!
東寶が片岡千恵藏を迎えて久々に放つ空前の時代劇巨篇
燃ゆる牢獄
監督　渡邊邦男
大江戸八百八町を紅蓮の焔に染めて追うもの追はれるものが展開する大スペクタクル時代劇
ヤクキスト　片岡千恵藏　澤村國太郎　高田浩吉　市川春代　夏川靜江
平舘

理料　鯉
夏!の!味覺!!
○月廼家
平市二丁目
電話三〇四番

肉
平驛前
伊東肉店
電話一〇二二番

七夕紙
差上げます
當店で五十圓以上御買上の皆様に上質七夕紙(十圓分)を差上げます
期間八月二十日迄
サンキュー
佐々木商店
平市鍛冶町　電話五〇三番

すずしい木蔭
靜かな離れ座敷
冷いビールを
鰻割烹　折詰仕出　泉
早朝より入浴が出來ます
西鳳　電350
平市紺屋町(舊白井邸跡)